

山梨の日本酒展 酒とアート 神聖なる協演

山梨県には日本酒造りに欠かせない清らかな水を湛えた山系が多くあります。これらの山系から湧き出る良質な地下水と内陸型の厳しい気象条件に恵まれて「山梨の日本酒」は醸し出されてまいりました。

現在、山梨県には13を数える酒蔵が存在し、古い酒蔵は300年の歴史と共に酒造りに取り組んでいます。昨今、食文化の欧米化や価値観の変化などの影響もあって、若者を中心に日本酒離れがすすんでいるとも言われていますが、日本酒は古くから正月、花見、結婚式など年中行事とともにあり、酒蔵は地域に根付き、地域の文化や歴史の一端を担ってきました。

このような中、山梨は今空前のインバウンド・ブームによって、多くの外国人観光客を迎えています。そして、彼らの多くは日本の食文化や美しい風景と共に、日本酒の神秘的ともいえる味と香りに感動し、洋酒の魅力とは全く異なった独自の日本の酒を官能しているのです。

かつて江戸の浮世絵が、19世紀フランスの画家たちによって評価されたように、そして、クールジャパンに代表されるアニメーションや漫画が、日本を代表する文化として海外で評価されているように、伝統的なこの酒が、今海外でも静かなブームとなっています。そこには、伝統を

超え、革新的な新しい日本酒の確立に向け、たゆまぬ努力と探求心によって創り上げてきた、深い情熱があることは言うまでもありません。そして、日本酒がさらにブームとなって、再び日本人の心と感覚を目覚めさせてくれることを期待してやみません。

今展では、各酒蔵の秘蔵するゆかりの美術作品を紹介するとともに、改めて山梨が誇る日本酒の醸造技術などを紹介するほか、各酒蔵の歴史や特徴などを紹介するブースを設け、山梨の日本酒の魅力を多角的に紹介します。

山梨の日本酒に、より理解を深め、お楽しみいただく機会となれば幸いです。

結びに、本展開催にあたり、貴重な美術資料並びに醸造関係諸資料を貸与くださいました個人はもとより、各酒造会社並びに報道関係各位に深甚なる感謝の意を表します。

南アルプス市立美術館 館長 向山富士雄
山梨県酒造組合 会長 北原 兵庫
テレビ山梨 代表取締役社長 原田由起彦

関連イベント

美術講演会 「酒蔵道具の古今」

日時:12月15日(日) 午後2時～
講師:北原兵庫(山梨県酒造組合会長)
場所:美術館研修室
定員:60名(申込不要 先着順)
参加料:美術館入館料を含む

オリジナル酒升作り

杉の升に独自のペイントをして
楽しみマス。
日時:12月21日(土)
①午前10時～正午
②午後1時30分～3時30分
場所:美術館研修室
定員:定員20名
(受付:12月1日(日) 午前9時30分～
定員になり次第締切)
対象:小学校高学年以上
参加料:300円

大試飲会

各酒蔵による日本酒試飲会。
日時:1月12日(日) 午後1時～4時
場所:美術館研修室
参加料:500円(美術館入館料は別途)

生涯学習課コラボ企画アートで体感 酒造組合員による ギャラリートーク

酒造りの道具類について説明を行います。
日時:1月18日(土) 午後2時～
場所:美術館展示室
参加料:美術館入館料を含む

新春落語

新春イベントとして落語会を行います。
日時:1月19日(日) 午後2時～
出演:春風亭弁橋(韭崎市出身・二ツ目)
場所:美術館研修室
定員:60名(申込不要 先着順)
参加料:美術館入館料を含む

お酒は楽しく適量で。
飲食運転は法律で禁止されています。



- 交通のご案内**
- 電車・バス JR中央線 甲府駅下車(バス利用35分)
山梨交通バスターミナル
西野経由小笠原下仲町行き「市立美術館」下車
十五所経由皷沢営業所行き「戸田町」下車 徒歩10分
 - 自動車 県道42号線沿い
中央自動車道 甲府昭和I.C.より20分
中部横断自動車道 白根I.C.・南アルプスI.C.より5分

美術館公式HPはこちら
<https://www.minamialps-museum.jp/>

美術館公式facebookはこちら
<https://www.facebook.com/235851723615051>